



## 殺菌剤

# ラリー™ 水和剤

## 園芸用殺菌剤 (Rally™ WP)

農林水産省登録  
第17684号



種類名／ミクロブタニル水和剤

有効成分の種類及び含有量／ミクロブタニル(PRTR1種)……10.0%

その他の成分の種類及び含有量／鋳物質微粉、界面活性剤 等…90.0%

物理的・化学的性状／類白色水和性粉末 45μm以下

毒劇法／該当なし

消防法／該当なし

有効年限／5年

包装／100g×20袋×2 ダンボール箱  
250g×20袋×2 ダンボール箱

TM：デュポン、ダウ・アグロサイエンスもしくはパイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標

### 特長

- ミクロブタニルは、植物体への浸透移行性に優れており、菌類の細胞膜を構成するエルゴステロール合成を阻害し、殺菌効果を発揮します。(EBI剤、またはその作用機作からDMI剤に分類されます)
- 予防効果に加え治療効果が高く、病原菌の侵入後の散布でも菌糸の伸長を阻害し、病斑の進展を防ぎます。
- 速やかに植物体内に浸透し隣接した部位にも移行するので、撒きむらによる発病を防ぎ、耐雨性にも優れるため安定した効果が得られます。
- うり類を中心とする果菜類に幅広い作物登録を持ち、低濃度で安定した効果を発揮いたします。
- ガス効果により、ハウスでは効果がより安定します。
- 人畜に対する毒性は低く、ミツバチ・蚕などの有用昆虫、また花粉の発芽に対する影響はほとんどありません。

## 適用病害虫及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤及び マイクロブタニルを含む 農業の総使用回数	使用方法
いちじく	さび病	2000	200~700 ℓ /10アール	収穫前日まで	4回以内	散布
もも	灰星病			収穫3日前まで	3回以内	
おうとう	黒星病、赤星病	2000~3000		収穫14日前まで		
りんご	黒星病、赤星病 うどんこ病	3000		収穫7日前まで	5回以内	
	斑点落葉病					
かき	うどんこ病	2000		収穫14日前まで	3回以内	
らっきょう ねぎ わけぎ	さび病					
あさつき		1000		収穫14日前まで	4回以内	
トマト ミニトマト	葉かび病					
なす	すすかび病 うどんこ病	4000~6000		収穫前日まで	3回以内	
ピーマン とうがらし類	うどんこ病 斑点病					
メロン	うどんこ病	6000~8000	150~300 ℓ /10アール	収穫前日まで	3回以内	
いちご		4000~8000				
さやえんどう 実えんどう		4000				
未成熟ささげ						
すいか		4000~8000				5回以内
きゅうり						3回以内
かぼちゃ		4000	根株養成期 但し、 収穫90日前まで	2回以内		
アスパラガス	斑点病					
ぎぼうし	さび病	2000				
茶	網もち病	1000	200~400 ℓ /10アール	摘採14日前まで		
	炭疽病、もち病	1000~2000				
たばこ	うどんこ病	6000	100~180 ℓ /10アール	収穫10日前まで		
日本芝	カーブラリア葉枯病	1500	0.25 ℓ/m <sup>2</sup>	発病初期	5回以内	
	さび病 カーブラリア葉枯病					
西洋芝 (パーミュダグラス)	ヘルミントスポリウム葉枯病	1500~2000	1 ℓ/m <sup>2</sup>			
西洋芝 (ブルーグラス)	ダラースポット病					

青文字の作物名はグループ化されていますので詳細は(独)農林水産消費安全技術センターのウェブサイトをご参照ください

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤及び ミクロブタニルを含む 農業の総使用回数	使用方法
西洋芝 (ベントグラス)	ヘルミトスポリウム葉枯病 ダラスポット病	1500~2000	1 ℓ /㎡	発病初期	5回以内	散布
	炭疽病	750~2000	0.25 ℓ /㎡			
	ダラスポット病	750~1500				

## 上手な使い方

- 感染初期であれば、散布により治療効果が期待できます。
- 浸透移行性が高く植物体に吸収されやすいので、降雨による影響は受けにくい薬剤です。



### 使用上の注意

- 本剤をりんごの斑点落葉病に対して使用する場合は、落花20日頃までの初期防除剤として使用してください。
- さやえんどうのうどんこ病に対しては、多発生下では効果が不十分な場合があるので、所定範囲の高濃度で使用してください。
- きゅうり、すいか、メロンに使用する場合、幼苗期の散布は薬害を生ずるおそれがあるので、所定範囲の低濃度で使用してください。メロン（アールスメロン系）では、生育前半（着果前）の散布は薬害を生ずる場合があるので、所定範囲の低濃度（8000倍）で使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所など関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所など関係機関の指導を受けてください。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使い切ってください。散布器具の洗浄水などは、河川などに流さないでください。また、空容器などは環境に影響を与えないよう適切に処理してください。



### 安全使用上の注意



- 誤飲、誤食などのないように注意してください。
- 粉末は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないように注意して、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園などで使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に、小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

**保管**…直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。